

少しずつ、室戸の町にも賑やかさが戻ってきているように感じます。
まだまだ油断できませんが、この時期を「準備のための時間」と捉え、
コロナ収束後の室戸を見据えて色々準備しています。

室戸ジオパーク実行計画 2020-2023 の完成までもうすぐ！

室戸ジオパークでは4年ごと（2015年までは3年ごと）に、「室戸ジオパークでこんな事業をしよう」という活動実行計画をたてています。その計画が今年の2020年から新たなものになります。4年というのは、次の再審査までの時期と同じです。2018年には日本の、2019年にはユネスコの再審査を受けて、室戸はグリーンカード（継続してユネスコ世界ジオパーク）を獲得しました。それでも「この部分をもっと伸ばそう」とか「もっとこんな工夫をして」というアドバイスが出されています。パーフェクトなジオパークはこの世界に存在していないからです。そういうアドバイスと、地域みなさんが「こんなことやってみたい」という意見をみんなで話し合っ
て、新しい実行計画はできあがっていきます。今回の実行計画で第四期目です。すべての計画が新規のものではなく、第三期目から継続しているものもあります。



計画例 1) 外来植物であるうちわサボテンの駆除を、主に室戸岬地区において今年度から開始する。
実行主体は、「まもる」チーム及び関連ガイド団体のみなさん。

計画例 2) 室戸ジオパークの中にある観光素材（ツアー、体験アクティビティ、宿泊・飲食施設）
をまるっとまとめてPRし、高額ツアー商品を開発する。実行主体は「かせぐ」チーム。

一例ですが、第四期の実行計画には上記のようなものが含まれています。

今回の実行計画策定は、昨年11月から始まって、計3回の大きな集まりがありました。そのたびにみんなで意見出しをしています。いろんな業種、性別、年代の方が集まって一緒に話し合うからこそ、「ほほー!!!」と思えるようなアイデアが出てきたり、長年悩んでいたことに光が射したりして。特に経営やマーケティングの部分なんかは、経験や知識がある人がいないと、なかなか話が進まないんですよね。第四期実行計画については、今後、室戸ジオパーク推進協議会の役員会と総会を経て決定されます。確定版は室戸ジオパークウェブサイトで公開します。

ついに徳島県三好市が日本ジオパーク認定に向けて本格始動

みなさん徳島県三好市に行ったことはありますか？「大歩危・小歩危」や「祖谷のかずら橋」などが有名で、室戸から案外近くて3時間ほど。そんな三好市は、日本ジオパーク



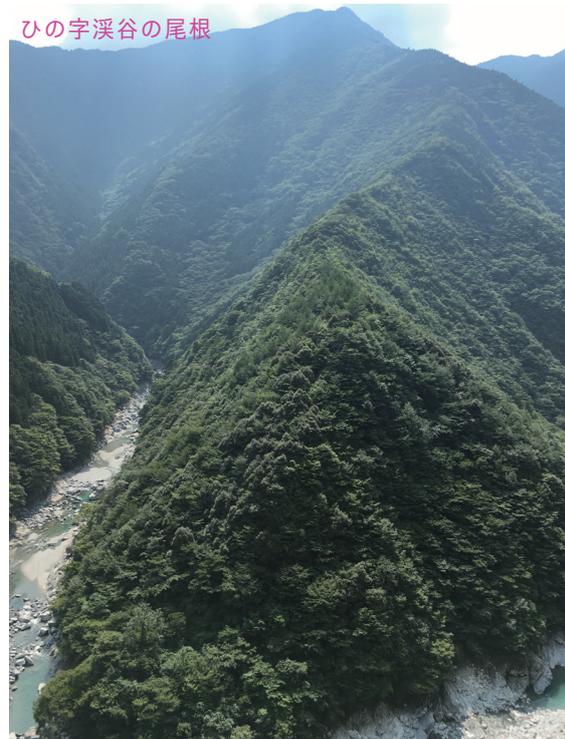
の認定を目指して3年ほど前から活動を続けています。そしてついに今年の5月10日に「三好ジオパーク構想推進協議会」が設立され、地域を巻き込んだ大きなジオパーク活動がスタートしました。

三好ジオパーク構想は、北に讃岐山脈、南に四国山地があり、その間を縫うように吉野川が流れるエリアです。左地図の赤線で示されている部分は「中央構造線」と言います。異なる地質同士を境とする大断層を「構造線」と言い、中央構造線は長さ約1000kmにも

なる日本を代表する構造線です。三好の大地では約3億年前から現在までの地球の活動の記録が残っていてそれが間近で見られますが、そこで鍵となる働きをしていたのが中央構造線です。さらに三好を縦に流れる吉野川は、豊かな生態系や人の暮らしを形成しています。

ここで、超個人的イチオシ三好ポイントをご紹介します。山の尾根です。「ひの字溪谷」というサイトがあるんですが、山間部をくねくねと流れる川が、^{いやけい}祖谷溪と呼ばれる深い谷を作り、それがひらがなの「ひ」のように見えることからそう呼ばれています（写真右下）。ただ、わたしが感動したのは「ひ」に見える景観ではなく、美しく連なる山の尾根のほうでした。

ひの字溪谷の尾根



「尾根」がどういうものかは、もちろん知っていました。「山の一番高い部分の連なり」が「尾根」です。意味は知っていても、教科書で写真付きで学んでいても、なんだかピンときていませんでした。

しかし、ひの字溪谷がひとたび目に入ってくるなり、ものすごい衝撃。まさしく尾根。まさに「山の一番高い部分の連なり」だなあと。そんな「ひの字溪谷」の様子は、三好ジオパーク構想のオフィシャルYouTubeチャンネルで動画で見られます（左QRコードからどうぞ）。四国内には他にも四国西予、土佐清水（構想）でもジオパーク活動が進んでいます。もし旅行や仕事で訪れたときには、そういう視点で室戸と他の地域を比べてみてもおもしろいですよ。

(文:小笠原翼 国際文化専門員)

「室戸ジオパークだより」へのご意見・ご感想、ご質問などなど、どんどんお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。「こんな情報あるよ!」「こんな情報を掲載して」ということも、お待ちしております。

【発行】室戸ジオパーク推進協議会 (0887-22-5161)

Email: info@muroto-geo.jp

〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町 1810-2 (担当:海老川)

